

# 旬旅行新聞

THE RYOKO SHIMBUN

## 業界人のための 業界専門紙

第1748号

3月21日(木)

2019年(平成31年)

毎月1日、11日、21日発行

昭和54年4月19日

第3種郵便物認可

購読料 年間16,970円

振替00190-4-38126

発行所 株式会社 旅行新聞新社

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-5-11MOAビル6階

電話03(3834)2718(代表) FAX03(3834)3748

関西支社 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-14-14エミューイモビル4階

電話06(6647)5489 FAX06(6647)7626

日本専門新聞協会、国土交通省交通運輸記者会加盟

提携紙 韓国旅行新聞、台湾「旅奇」、フランス「ZOOM JAPON」

東京で初イベント  
そはの実在来種PR  
福井そは



福井を「そはの聖地」

熱意ある志望動機と選考基準に達したことで採用を決定。気品とおもてなしの心を兼ね備えたガイドに育成していく。

バスガイドから運転士への職種変更は、「かねてから女性の観光バス運転士に憧れがあり、運転士としてほとバスの安全を担い、お客様に快適な旅を提供する仕事をした」という本人の意思を尊重した。4月1日から運転士研修を開始する。

福井そはルネッサンス

推進実行委員会(宝山栄

一理事長)は3月6日、

東京・神楽坂の九頭龍蕎

麦本店で、「ふくいそは

を食す会」を開いた。食

環境ジャーナリストの金

丸弘美氏協力のもと、同

会結成24年間で初めて東

京で、ふくいそはの消費

拡大と認知向上を目的に

イベントを行った。

宝山理事長は「福井県

のそはの実は昔から受け

継ぐ、在来種を使用して

いるので、そは業界から

は一目置かれている。多

くの人の知ってもらい、

福井県を「そはの聖地」

にしたい」と語った。

同委員会は県や市など

で構成。そはの伝統文化

の復興と継承、発展、イ

メージアップを目指して

いる。アマチュアでは最

も権威がある「全日本素

人そはうち大会」や、高

校生対象の「そは打ち甲

子園」を開き、若年層の

消費拡大にも取り組む。